「GEN」問い合わせに！

相続税クリアーで、相続税倒産は避けられたが？

『前述』

「GEN」についての問い合わせに

私が所属するクラブ、主催する京都さきぞう会等メンバーらからの問いには「息子がイチビッテ」と回答してきましたが、それでは納得を得られず、また業務上戦友の廣瀬善彦や村上忍等の名誉を護るために、自らの記憶を辿り、事実関係と照合、遭遇者の証言を聞き取り、各顧問照会の上、次第を編集公表します。

『創業初期』

初めての税務調査を受け、相﨑先生と完敗、隣接の喫茶店からコーヒーを出前頂き東山税務署長から「税金を支払い、隆盛を祈る」と指導激励戴いた。

税務署を良い意味でライバルと、また金融機関も融資を如何に受け、短期で返済するか？ライバルと定めた。

1980年ラファイアット百貨店のバイヤーから受けたアドバイスとその予言（贅沢品と日常品）通りに世相は動き、4 年後ユニクロの出現で徹底的となり、2005年の還暦でちりめん洋服メーカーに幕引き、個人作家に戻った。

1990 年初期バブル崩壊、数年後に、相続税が払えなく不動産処分を持ち込まれる例が後を絶たず、ちりめん洋服収益金や、行く末は手仕舞い資金と考えていたものを不動産買い取り資金に充て、かなりの不動産を保有に至った。

不動産売買で知り合った廣瀬善彦と共同で「さきぞうビル（現さきぞう不動産）」を設立不動産の管理と賃貸仲介業務を委託した。

2005年「下鴨ぢんや」で開いた私の還暦会で「今まで仕事一筋であったが、これから子供達を見守る」と約束した。

よってここから相続や仕事の継承問題に議論が及ぶのだが議論の中で創業者三人の一人田村操常務は「田村元起への仕事の継承は、人間的に認められない」「自分のことには一生懸命だが、会社のため、人のためには動かない」「彼は利己的で、みんなの面倒を見ない」と強硬に主張、継承問題は常務生前全く動かない膠着状態であった。

2014年田村操常務が他界、継承問題はさておき、相続問題の解消（当時の概算で 30 棟強の不動産の評価による相続税50～100億円推定）に動いた。

京都織物卸商業組合が最盛期700社弱であったのが現在約60社と極端に減少、原因の多くは相続税問題と学習、田村操常務の相続に便乗を計画、相続税倒産を避ける目的で株式譲渡を形式的に行った。

しかし、田村操常務が絶対反対であった経営の継承は、相﨑先生らのアドバイスで私が死亡もしくは周辺が成長を確認するまでは株券を不交付としたものの、田村元起がグループの「人・モノ・金・信用」を「預かり」、「次世代繋ぎ」、「会社を私物化しない」と言う『商人（あきんど）の躾』の課題は残った。

田村操の相続から田村泰佐と田村起三郎が参画したが、田村起三郎が「何も出来ないのに偉そうにしている元起と一緒に仕事はできない」とユニバーサル・スタジオ・ジャパンに転職した。
その折「IT を学習してこの会社を変えてみせる」と言って出て行った。

2019年末、地中海クルーズから帰国後、国内は一変、コロナ禍に汚染されていった。さきぞうグループ内の「高瀬川フーズ」「井筒ホテル」「SNW 民泊」「さきぞう不動産」がそれぞれの代表者が個人保証をした上制度融資を受けた。
その後、元起が代表の「井筒ホテル」と「SNW 民泊」が営業停止、事実上破綻した。
元起の嫁の真紀らに「何らかで継続しなければ個人破綻への連鎖が起こる」と注意した。このことが発端で今回の暴挙事件は起こったと考えられる。
しかし、岡畑顧問税理士が「井筒ホテル」と「さきぞう社」の合併吸収を報連相会に提案、「井筒ホテル」の損失を「さきぞう社」の利益で相殺する案を報連相会で認め実行したのに何故暴挙に？

『暴挙事実』
村上忍代表の不動産管理の社員を、SNW 民泊に引き抜き、不動産管理業を乗っ取り、その収益を原資として個人保証の債務返済を継続し、村上代表を苦しめた。
田村佐起三が取得した不動産の賃貸管理が主目的のさきぞう不動産を
元起個人の関係不動産会社（所属している各界の仲間）に委託し業務を横領、廣瀬善彦代表の事業に打撃を与えた。
創業者の一人故操常務の懸念通り、他を顧みず自己利益で周りを虐げた。

創業者の一人故操常務の懸念通り、会社の資金を個人利用し自分が汗を流し買ってもいないのに４～５0棟のビル名に、個人名を冠し、かなりの金員を自己顕示欲に使用、本来の投資を怠ったと周りから聞こえてくる。
1972 年心斎橋パルコ山崎常務（西武百貨店社長→福武書店をベネッセに改名）、柏子見店長（高槻西武店長）、伊藤部長、和田課長、倉家係長に命名された「SAKIZO」の商号を勝手に GEN　sakizo に変更
これを見ると、やはり会社より個人の気持ち、自己顕示欲優先だと！
元起事務所出入りの人からは「真紀さんが元起のお尻を煽っている」等の幾つかのワードが聞こえてきます！

古参順（敬称略）
相﨑晉一郎、田村邇子、高田正三、福山茂男、小西直人、川本幹雄、廣瀬善彦、
田村綿絵、村上忍、南聡、黒瀬拓馬、真鍋敦史
以上証言遭遇編集

2026.10.06　田村佐起三編集
2026.10.00　小西直人加筆修正